

Title	編集後記
Sub Title	
Author	清水, 唯一朗(Shimizu, Yuichirō)
Publisher	慶應義塾大学湘南藤沢学会
Publication year	2018
Jtitle	Keio SFC journal Vol.18, No.1 (2018.) ,p.289- 289
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集 平成が生んだもの、残したもの
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=0402-1801-0289

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

創業から坂の上まで走り続けた明治、震災の混乱のなかで終わりを迎えた大正、敗戦で大きく変化した昭和。いったい平成という時代はのちの時代からどうみられるのだろうか。本号ではSFCらしく、まだ生ものの「平成」時代を捉えなおし、次代への展望を論じた。テーマはありきたりだが、気鋭の著者の皆さんによって尖った特集とすることができた。

研究論文は、いずれもハードな査読を経ての掲載となった。本誌では3名の査読者が丹念にコメントし、再査読のたびに大きく内容が更新されていくことに、ジャーナルとしての大きな存在意義を感じる。会員諸氏からの一層の投稿をお待ちしたい。

今号から編集委員会が新体制となった。これまで長年にわたってジャーナルのクオリティを支えてくださった香川敏幸先生、鄭浩瀾先生、松川昌平先生に御礼申し上げたい。

清水 唯一朗
KEIO SFC JOURNAL 編集長